

三輪陽子議員の討論 令和5年度一般会計補正予算第4号について

この補正予算では、側溝・舗装等工事費に1億円の追加や自転車用ヘルメット着用促進事業費補助金に220万円の追加など評価できる部分もありますが、全体として新たに財政調整基金が5億9299万6千円と6億円近く積み上がり合計20億円程度となって余裕があるのに、物価高に喘ぐ市民のための補正予算になっていない点が最も批判すべき点です。

今、国の物価高騰対策臨時交付金を使って学校給食費の半額助成や水道料金の基本料金免除などを行っています。市の財政を使えば、さらに市民のために上乗せして物価高騰対策のためにお金を使うことができるはずですが、残念ながらその姿勢が全く見られません。

その他にも歳出予算で色々な問題点があります。

1点目は保育園の調理員の人材派遣委託料339万6千円です。

保育園は自園調理と決めたにも関わらず、調理員を正規職員として雇うことをしてこなかったところが一番の問題です。子ども達の安全安心の調理場には正職の調理員さんが1人は必要ですが現状は16園の保育園に正規職員10名、再任用職員8名、会計年度任用職員52名という人員配置です。職員募集しても集まらないからと安易に派遣に頼るのではなく、今からでも仕事にふさわしい待遇改善を検討して安定して調理員を確保できるよう根本的な解決方法を検討すべきです。

2点目は新学校給食センター敷地整地工事費719万6千円です。

当初予算2548万2千円で工事を発注したのに、いくら太い樹木があり処分に費用がかかると言っても、見積もり段階でわかっているはずなのに、719万6千円も追加で工事費を請求するなど普通の工事では考えられません。工事契約をもっと慎重にすべきです。

このあとは繰越明許費となっているものですが、

3点目は（仮称）多世代交流プラザの設計委託費3996万6千円です。

老人福祉センターの建て替えなのに、お風呂を廃止して高齢者が気軽に集まれる場所をなくす。今ある児童館をなくして子どもだけでは行けない児童館1つだけにする。など市民の声を聞かず、財政の縮減に重きをおく設計をすすめるこの予算には到底賛成できません。

4点目は曾本地区工業用地整備推進事業の概略設計費731万5千円です。

埋蔵文化財の発掘、埋め戻しに多額の費用がかかり、かかった費用が市に入る法人市民税で回収できるのは80年以上先になる試算もでています。

また今後AIとロボットの時代になれば地元の雇用創出も危うい状況の中、市内の優良農地を多額の財政を使って工業用地に変えてしまう方向に舵をきることは反対です。概略設計を来年度に繰り越しすることには賛成できません。

これらのことから令和5年一般会計補正予算第4号に反対します。